

第19回精神科看護管理 研究会セミナー in 高知

【テーマ】当事者参画への看護の
挑戦 みんなが主役ぜよ【日時】
2012年1月27日(金)～29
日(日)【会場】国民宿舎桂浜荘(高
知市)【問い合わせ】〒780-0056
高知市北本町1丁目1-7 近森病
院第二分院看護部長室:松永智香・
中島久美【TEL】088-822-5231
(内:6304)【FAX】088-871-
7424【E-mail】aini.kyoiku@
chikamori.com【URL】http://
psykangokanri.jp/semina.html

第19回日本産業ストレス学会 in Tokyo

【テーマ】メンタルヘルス対策の
新たな地平を目指して 研究と実
務の融合から【日時】1月27日
(金)～28日(土)、29日(日)
研修会【会場】大正大学(豊島区
西巣鴨)【基調講演】「メンタルヘ
ルス対策の実務と研究」北村尚人
(帝京平成大学)／「産業ストレ
ス対策の現状と展望 アトミズム
からホーリズムへ」佐藤裕司(富
士通)【特別講演】I「メンタル
ヘルスに関する海外の研究と対策
の動向」小木和孝(労働科学研究
所)／II「現代型うつ病をめぐっ
て」野村総一郎(防衛医科大学校)
【教育講演】I「睡眠教育・保健
指導とLow intensity CBTによる
予防的介入」田中克俊(北里大学
大学院)／II「ストレスと運動」
下光輝一(東京医科大学)／III「産
業医学研究への分子生物学からの
アプローチ 研究連携に向けて」
河野公俊(産業医科大学)【シン
ポジウム】I「災害! その時産
業保健専門職には何が求められて

いるか」池田智子(産業医科大学)
／II「メンタルヘルス対策におけ
るストレス調査の活用 ストレス
チェックの義務化を見据えて」廣
尚典(産業医科大学)【ランチョ
ンセミナー】「メンタルヘルスの
実践 臨床と産業現場の連携」芦
原睦(中部労災病院)【参加費】
当日:会員6000円、非会員
8000円、学生3000円。懇親会
費5000円【申し込み】下記ホー
ムページの申込用紙をダウンロードし、電子メールに添付するか
FAXで送信。研修会は別途申し
込み、参加費。詳細はホームペー
ジへ【問い合わせ】〒101-0047
東京都千代田区内神田2-12-6
内神田OSビル7階 フィスメッ
ク(担当:村田)【TEL】03-
3255-3698【FAX】03-3255-
3397【E-mail】murata@fismec.
co.jp【URL】http://www.19-
sangyo-stress.jp/index.html

第33回 大学メンタルヘルス研究会

【テーマ】キャンパスにおけるメン
タルヘルス不調の原因と対策
【日時】1月28日(土)～1月
29日(日)【会場】グローバルア
リーナ(福岡県宗像市)【特別講演】
「大学におけるメンタルヘルス」
久保千春(九州大学附属病院)【教
育講演】「災害時のメンタルヘル
ス」前田正治(久留米大学)【ワー
クショップ】「保健管理施設で使
えるアートセラピー」荒木登茂子
(九州大学)【定員】先着50名【参
加費】5000円。懇親会4500円【問
い合わせ】〒811-4192 福岡県
宗像市赤間文教町1-1 福岡教育
大学保健管理センター 宮田正和
【TEL】0940-35-1243【FAX】

0940-35-1717【E-mail】
miyata51@fukuoka-edu.ac.jp
【URL】http://melabq.
nagaokaut.ac.jp/MH/

第4回 日本不安障害学会学術大会

【テーマ】これからの10年を不
安障害のために【日時】2月4日
(土)～5日(日)【会場】早稲
田大学国際会議場【特別講演】1
「不安障害の生物学的研究最前線」
井ノ口馨(富山大学)／2「不安
障害のCBTの実際」堀越勝(国
立精神・神経医療センター認知行
動療法センター)／3「不安障害
の疫学と精神保健予防」川上憲人
(東京大学)／4「不安・抑うつ
の臨床哲学」榊原哲也(東京大学)
／5「多職種による外来地域精神
医療とそのマネジメント」渡邊博
幸(千葉大学)／6「バーチャル
リアリティの医療応用」小山博史
(東京大学)【plenary lecture】
1「Diagnostic classification in
DSM-V」Michelle G. Craske,
Ph.D. (Department of
Psychology, UCLA)／2
「Molecular genetics in anxiety
disorders」John M. Hettema,
M.D., Ph.D. (Virginia Institute
for Psychiatric and Behavioral
Genetics)【シンポジウム】1「不
安障害の遺伝・環境因」西田淳志
(東京都医学総合研究所)・音羽健
司(東京大学医学部附属病院)・
清水栄司(千葉大学)・佐々木司(東
京大学)／2「不安障害における
神経画像・臨床研究の最前線」中
前貴(京都府立医科大学)・中尾
智博(九州大学)・栗山健一(国
立精神・神経医療研究センター精
神保健研究所)・松岡豊(同)／

3「不安に関する行動医学的研究」菊池裕絵（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）・城月健太郎（東海学院大学）・坂本典之（いずみ記念病院）・鈴木伸一（早稲田大学）／4「不安障害に対する心理的アプローチ」毛利伊吹（帝京大学）・久保田幹子（法政大学）・笠井さつき（帝京大学）・大月友（早稲田大学）／5「不安・抑うつと不安障害の症候学・疾患概念の基本的理解」針間博彦（東京都立松沢病院）・大前晋（虎の門病院）・古茶大樹（慶應義塾大学）／ほか【ランチョンセミナー】1「不安障害の疫学、遺伝学」John M. Hettema／2「パニック障害・社交不安障害の診断・治療」松永寿人（兵庫医科大学）ほか【教育プログラム】1「職場における不安・不安障害への心理介入」坂野雄二（北海道医療大学）／2「感情調節困難クライアントのための認知行動療法：弁証法的行動療法から学ぶ」遊佐安一郎（長谷川精神医療教育研究所）／3「生活習慣病管理がなぜうまくいかないのか？ 今日から使えるコツ」山中学（東京女子医科大学）／4「病院臨床における多職種協働」中嶋義文／5「発達障害の不安にどう対処するか——教育現場で」下山晴彦（東京大学）・大島紀人（東京大学学生相談ネットワーク本部精神保健支援室）・金生由紀子（東京大学）【市民公開講座プログラム（暫定）】2月5日（日）・会場：東京大学安田講堂〔公開講座〕1「大震災による精神障害への影響」（仮題）丹羽真一（福島県立医科大学）／2「大震災による身体疾患への影響」（仮題）福土審（東北大学）／3「被災地支援で求められているもの 東松島市支援の

経験から」安藤俊太郎（東京都医学総合研究所）／4「外傷後ストレス障害の治療」金吉晴（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）【参加費】12月31日まで登録：医師・企業9000円、コメディカル6000円、学生5000円、教育プログラムは各1000円。懇親会12月31日登録：医師・企業6000円、コメディカル4000円、学生3000円【申し込み】ホームページ上の登録フォームより。当日受付はない【問い合わせ】〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-12 NBF赤坂山王スクエア インターグループ内運営事務局 荒木剛【TEL】03-5549-6916【FAX】03-5549-3201【E-mail】jsad4@intergroup.co.jp【URL】http://4.jsad.jp/

平成23年度精神科認定 看護師の会第2回研修会

【日時】2月26日（日）13：00～17：00【会場】日本精神科看護技術協会東京研修会場（港区港南）【講演】「災害看護と支援について」武藤教志（さわ病院）【活動報告】木田ゆかり（東京都立松沢病）・中田信枝（同）【対象】精神科認定看護師の会会員、日精看会員・非会員、精神科看護従事者【参加費】精神科認定看護師の会会員は無料、日精看会員1000円、非会員2000円【定員】80名【申し込み】2月10日までに下記アドレスへ【問い合わせ】精神科認定看護師の会事務局 担当：大谷須美子【E-mail】t10a05@yahoo.co.jp【URL】http://nintei.jp/2kennsyuu.aspx

日本産業衛生学会 第53回 産業精神衛生研究会

【テーマ】職域メンタルヘルスの未来展望 変わっていくもの、変えなければいけないもの【日時】3月3日（土）【会場】エル・シアター（エルおおさか（大阪府立労働会館））（大阪市中央区）【パネルディスカッション】「職域メンタルヘルスにおける産業看護職の役割」玉木登志枝（ダイハツ工業）・小倉由佳梨（京都工場保健会）・上原正道（ブラザー工業健康管理センター）【ランチョンセミナー】「メンタルヘルス活動のための実践的心理療法～交流分析を中心に」芦原睦（中部労災病院）【特別講演】「メンタルヘルス不調者の職場復帰支援に関する国内外の話題」川上憲人（東京大学）【シンポジウム】「メンタル不調者の復職支援を考える」土肥誠太郎（三井化学本社）・中田ゆかり（参天製薬滋賀工場）・片桐陽子（宇治おうばく病院）・森口次郎（京都工場保健会）・山田長伸（山田長伸法律事務所）・井上幸紀（大阪市立大学）【参加費】事前申込（振り込み締め切り1月31日）：会員3000円、非会員（医師）5000円、非会員（医師以外）4000円、学生2000円。当日受付：会員4000円、非会員（医師）6000円、非会員（医師以外）5000円、学生3000円。懇親会2000円【申し込み】ホームページにあるFAX用紙をダウンロードし、06-6944-1192までFAXする【問い合わせ】〒540-0033 大阪市中央区石町2-5-3 エル・大阪南館9F 大阪産業保健推進センター（担当：垣内）【TEL】06-6944-1191【FAX】06-6944-1192【URL】http://

小誌では、できるかぎり多くの「生情報」を掲載したいと思っています。
イベントを企画されている方、広報を担当されている方は、
ぜひ小誌編集室までご一報ください。
FAX. 03-5804-0485 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

www2.ocn.ne.jp/~eisei

心理教育・家族教室ネットワーク 第15回研究集会

【テーマ】とどける、つたえる、心理教育【日時】3月8日(木)～9日(金)【会場】アクトシティ 浜松コンgresセンター【分科会】「地域で広げる心理教育」土屋徹／「家族による家族学習会 学び合いとつながりから始まる家族のリカバリー」福井里江／「統合失調症を持つ当事者への心理教育 急性期から実践していくことの意義」内野俊郎／「アウトリーチにおける心理教育(仮題)」新居昭紀・伊藤順一郎／「リワークにおける心理教育と家族教室」五十嵐良雄／「被災者・被害者の為のトラウマ心理教育」飛鳥井望／「WRAP(元回復行動プラン)を通して、自分の元気について考える」久永文恵／「感情調節障害(仮題)」遊佐安一郎／「心理教育を立ち上げ、定着させ、継続するには ツールキットを活用し、施設外資源と連携した取り組みの工夫」大島巖／「『標準版家族心理教育研修会』のエッセンス 家族心理教育をどのように学ぶのか」池淵恵美【参加費】事前登録：会員 6000 円、非会員 7000 円、当日：会員 7000 円、非会員 8000 円、当事者 1000 円、家族／学生 2000 円【申し込み】ホームページ上でオンライン登録か、申込用紙をダウンロードし、54-251-6584 まで FAX で。【問い合わせ】静岡県立こころの医療センター医局内 阿部宏史【TEL】054-271-1135(内線 291)【E-mail】hpkokoro@vcs.wbs.ne.jp【URL】http://www.at-ml.jp/62477

日本集団精神療法学会 第29回大会

【テーマ】グループサイコセラピストとは何者か【日時】3月10日(土)～11日(日)【会場】明治大学駿河台キャンパス【参加費】事前申し込み：会員 8000 円、非会員 9000 円、学生(院生も含む)5000 円。当日：会員 9000 円、非会員 10000 円、学生(院生も含む)6000 円。懇親会 6000 円【問い合わせ】〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 明治大学心理臨床センター 高良聖 気付【FAX】03-3296-4165【E-mail】jagp29@meiji.ac.jp【URL】http://www.jagp1983.com/jagp29tokyo.meiji/

第31回日本社会精神医学会

【テーマ】かえる・かわる メンタルヘルスプロモーションと精神保健医療改革【日時】3月15日(木)～16日(金)【会場】学術総合センター(千代田区一ツ橋)【学会長講演】「かえる・かわる 真の改革に向けて」竹島正(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)【特別講演】「メンタルヘルスにおける予防 その革新的アプローチ」オイゲン・コウ(ダックスセンター)【コアシンポジウム】I「医療観察法医療から精神保健福祉法医療への新たな展開」武野興司(千葉保護観察所)・碑田雅洋(千葉地方裁判所)・来住由樹(岡山県精神科医療センター)・平林直次(国立精神・神経医療研究センター病院)／II「精神疾患の疫学・国民意識調査からみた日本の現状と将来に求められるもの」藤原武男(国立成育医療

研究センター研究所)・土屋政雄(労働安全衛生総合研究所)・中根秀之(長崎大学)・立森久照(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)／III「問題行動の精神病理学」井原裕(獨協医科大学越谷病院)・井上裕紀(島田療育センターはちおうじ)・小林桜児(国立精神・神経医療研究センター病院)・松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)【プログラム委員提案シンポジウム】(仮)「未治療・治療中断のアウトリーチ」「福島での災害と精神医療の現状」「東日本大震災のメンタルヘルスケアを振り返る：岩手県の経験」「地域精神科モデル医療センターにおける多職種チームモデルを用いた包括的地域医療の試み」「自殺急増以降の経年変化に関する再検討」【教育講演】I 島菌進(東京大学)／III 鷲見学(厚生労働省健康局)ほか【市民フォーラム】佐藤誠(前北九州医療刑務所)【問い合わせ】〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル 6F コングレ内【TEL】03-5216-5318【FAX】03-5216-5552【E-mail】jssp2012@congre.co.jp【URL】http://www.congre.co.jp/jssp2012/

第7回日本統合失調症学会

【テーマ】統合失調症患者・家族のニーズを適える研究成果を目指して【日時】3月16日(金)～17日(土)【会場】愛知県産業労働センター(ウインクあいち)(名古屋市中村区)【特別講演】「統合失調症と双極性障害の共通病態：ゲノム医学の観点から(仮題)」Michael O'Donovan Professor,

Cardiff University／「認知リハビリテーション：治療意欲を考慮して（仮題）」Alice Medalia Professor, Columbia University／「死後脳解析（仮題）」Sabine Bahn Professor, University of Cambridge【教育講演】貝淵弘三（名古屋大学）・鍋島俊隆（名城大学）・定藤規弘（自然科学研究機構生理学研究所）【シンポジウム】「幻覚妄想の脳器質的背景を考える」「非定型精神病概念と今日の精神科医療」「統合失調症と発達障害の脳画像研究」「統合失調症の早期診断と関連病態」【一般公開】「当事者／家族が望む研

究とは」【問い合わせ】〒460-0008 名古屋市中区栄3-32-20 朝日生命ビルコンベンションリンケージ内【TEL】052-262-5070、【FAX】052-262-5084【E-mail】jssr7@secretariat.ne.jp【URL】<http://www.secretariat.ne.jp/jssr7/outline.html>

第13回日本サイコセラピー学会

【テーマ】精神療法と薬物療法の協働【日時】3月17日（土）～3月18日（日）【会場】大阪国際会議場（グランキューブ大阪）（大阪市区）【会長講演】【特別

講演】【教育講演】【シンポジウム】「認知行動療法と薬物療法」「緩和医療とサイコセラピー」【参加費】会員5000円、非会員7000円、学生は無料（学生証提示）。懇親会3000円（学生は無料）【申し込み】当日受付のみ。※学会参加者は守秘義務を負う【問い合わせ】〒570-8506 大阪府守口市文園町10-15 関西医科大学精神神経科学教室内【TEL】06-6992-1001【FAX】06-6995-2669【E-mail】jfp13th@takii.kmu.ac.jp【URL】<http://www.jfp13th.jp/index.html>